

令和 8 年 8 月 2 6 日

## こどもの感染症に注意しましょう

### 1 概要

多くの学校では、夏季休暇が終わり、二学期が始まります。

集団生活が始まることで、子ども同士が接触する機会が増えることから、様々な感染症が流行する可能性があります。

県内では、感染症発生動向調査に基づく 1 医療機関あたりの報告数が、第 34 週（8/17～8/23）に水痘 1.64 人、RS ウイルス感染症 1.11 人となっています。またその他にも、咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナ等、子どもを中心に夏季に流行しやすい感染症がありますので、注意してください。

体調が悪い場合は、無理せずに登校を控え、自宅で休養をしましょう。また、医療機関を受診する際は、あらかじめ連絡してから受診してください。

### 2 基本的な感染対策

#### （1）手洗い、手指の消毒

帰宅後やトイレの後、食事の前は手をよく洗いましょう。液体石けんを使って、手のひら・手の甲、指の間や手首までしっかりと洗います。洗った後は、清潔なタオルでふき取り、タオルの共用は避けましょう。

#### （2）マスクの着用、咳エチケット

咳などの症状がある場合や不特定多数の人が密になる場所では、マスクを着用することが大切です。

#### （3）部屋の換気

エアコンを使用する時期ですが、部屋の空気が滞留しないよう、こまめな換気が有効です。部屋の対角線上にある窓やドアを数センチ開けるなど、定期的な換気を行いましょう。サーキュレーター等を併用すると効率的に換気をすることができます。

#### （4）体調不良時の休養

毎日、健康状態（発熱、咳、咽頭痛、下痢などの有無）を確認し、体調が悪い時は、無理をせず休養しましょう。早めに休むことで、他者への感染拡大を防ぐだけでなく、感染症の悪化を防ぎ、早期の回復につながることを期待できます。また、バランスのとれた食事や十分な睡眠をとり、日頃から体調管理に努めてください。

#### 【問合せ先】

大分県福祉保健部健康政策・感染症対策課  
感染症対策班 手島、一ノ瀬  
電話：097-506-2863、2665